



東日本大震災から一年

広小で避難訓練を実施

三月十一日、東日本大震災でのあのすさまじいばかりの津波の映像が今でも脳裏に焼き付いたままですが、あれから一年がたちました。被災地の復興はまだまだ充分ではないようですが、被災地のみなさんの頑張りや着実に進んでいることが新聞、テレビ等で伝えられています。悲しみを乗り越えての努力に敬意を表したいと思います。

さて、この三月十一日の次の日、三月十二日（月）に広小小学校で避難訓練を実施しました。地震、津波の発生を想定した訓練で、子どもたちは教室から運動場へ、さらに八幡神社まで避難しました。今年の六月に同様な訓練を実施しているので、子どもたちは避難の順序が分かっています。全校児童全員が短時間の内に八幡神社まで避難することができました。

八幡神社では、地震津波から命を守るために大切なこととして、避難の仕方を知っておくこと、避難路が通れないときは別のできるだけ安全な道を使って避難すること、等々を確認しました。あわせて、東日本大震災での「釜石の奇跡」について紹介し、その時の避難三原則の一つ、「最善をつくせ」の大切さを子どもたちに伝えました。最善をつくすということは、必要なときは八幡神社の裏山等にさらに避難することです。「想定外」といういいわけは、絶対にしてはいけなと考えています。

保護者のみなさまには、広小の子どもたちの避難対応について、再度確認の程をお願いします。

教室から運動場へ



運動場から八幡神社へ



八幡神社で避難のポイント確認



地震・津波発生時の広小の子どもへの対応

■子どもが学校内にいる時

- ① 机の下にもぐる、広いところで身を伏せる
- ② ゆれがおさまったら、運動場から八幡神社に避難する

■子どもが登下校中の時

- ① 危険なところから離れ、できるだけ広い場所で身を伏せる
- ② ゆれがおさまったら、自宅、学校、八幡神社のうち、近いところに避難する

※自宅に大人の人がない場合は、学校もしくは八幡神社に避難する

津波発生時、広小児童は八幡神社に避難します

※必要なときは保護者の迎えをお願いします



六年生が中庭を清掃

卒業をひかえた六年生が、早朝に中庭の清掃活動に取り組んでいます。「立つ鳥あとを濁さず」の実践で、母校広小小学校への感謝の気持ちを行動であらわそうと、みんなで落ち葉等を掃き集めてくれています。みなさん、ありがとうございます。

